

四国ゴルフ連盟会報

No.41

発行/四国ゴルフ連盟

松山市福音寺町55-1

〒790-0921

TEL 089-990-3260

FAX 089-990-3261

平成22年度定時総会並びに平成23年度理事会を開催

—23年度事業計画・予算案、任期満了に伴う役員改選など承認—

【総会の概要】

四国ゴルフ連盟は、去る2月17日(木)、松山全日空ホテル会議室において、加盟倶楽部34名出席(委任状26)のもと、平成22年度定時総会を開催。会議では、大亀会長が昨年、成功裡に終えた「連盟30周年記念事業」や「四国で初開催の日本アマ」に対する各加盟倶楽部のご支援・ご協力に対し感謝の意を表すとともに、年々国際化するゴルフの普及促進並びに新しいハンディキャップシステムの移行に向け、「USGAスロープレーティング」の講習会が全国のトップを切って四国で開催され、今後ますます重要になってくること、加えて、新年度に新たに立ち上げる「第1回四国ミッドアマ選手権」、「第1回四国女子インタークラブ親善競技」などの円滑な実施のため各倶楽部の一層の協力に期待したい、また、ジュニアの育成強化のための新しい取り組みなどについて、JGAをはじめ関係者と連携しながら連盟一丸となって、今後一層積極的に推進していきたいなどと挨拶があった。



(主な承認・議決事項)

- ◆平成22年度事業報告・収支決算 ◆平成23年度事業計画・予算案
- ◆理事定数14名以内から18名以内に増員、役員名の「理事長」を「会長」に改めるなどの規約の一部変更
- ◆任期満了に伴う役員(理事・監事)の改選(名簿は下記「理事会の概要」に記載)

【理事会の概要】

去る1月27日の今年度第1回に続き、2月17日(木)、理事13名、監事2名の出席のもと第2回理事会を開催。

(主な承認・議決事項)

◆平成23・24年度会長・常務理事の選出

会長 大亀孝裕(高原GC)(留任)

常務理事 井関和彦(愛媛GC)、柿谷友造(土佐ユートピアCC)、鈴木美二(徳島CC)(以上留任)
立石信彦(高松CC)(新任)

理事 青野 正(新居浜CC)、大塚澄男(高松グランドCC)、川上昭一(今治CC)、野中朋之(土佐CC)
三谷昭夫(御所CC)、森澤豊明(錦山CC)、森 惟夫(鮎滝CC)(以上留任)

坂崎初雄(鳴門CC)、三木輝久(琴平CC)、真鍋彦介(エリエールGC)、山中健太郎(新居浜CC)(以上新任)

監事 田中 哲(宇和島CC)、本田典孝(志度CC)(以上留任)

◆各委員会委員長・副委員長・委員の選任

(総務委員会) **委員長** 森 惟夫(新任)

委員 柿谷友造(留任)、後藤義昭(道後GC)、島内保夫(徳島CC)

東川 稔(エリエールGC松山)、渡辺成剛(ロイヤル高松CC)(以上新任)

(競技委員会) **委員長** 山中健太郎 **副委員長** 能仁 勇(西徳島GC)、真鍋彦介(以上新任)

(HC委員会) **委員長** 真鍋彦介(新任)

副委員長 永井水澄(愛媛GC)(留任)、佐井重久(グリーンフィールドGC)(新任)

(競技・HC委員) 京河正強(久万CC)、高橋献樹(サンセットヒルズCC)、竹村彰夫(高知GC)、坪井 優(志度CC)、
長尾耿之介(徳島GC)、松下啓三(坂出CC)、坂本晴美(スカイベイGC)、二宮 薫(今治CC)(以上留任)

岩崎一雄(高松ゴールドCC)、藤田善幸(松山国際GC)、森 茂幸(屋島CC)

武井峰子(こんびらレイクサイドGC)、谷口由紀江(鳴門CC)(以上新任)

(ジュニア委員会) **委員長** 鈴木美二(留任) **副委員長** 大塚澄男(新任)

委員 岡 和海(阿南CC)、岡崎 格(高ゴ連)、国澤利久(パシフィックGC)、

富田佳子(讃岐CC)、永井水澄、西澤孝幸(四国CC)、森 利彦(屋島CC)(以上留任)

榮田哲朗(スカイベイGC)、浜田信広(北条CC)(以上新任)

四国ゴルフ連盟 2011(平成23)年度 主催競技日程 (事情により変更することあり)

開催日			競技の名称	開催場所	
月	日	曜			
5	18～19	水～木	第31回四国女子アマチュアゴルフ選手権競技	鳴門カントリークラブ	徳島県
6	1～4	水～土	第31回四国アマチュア選手権競技	グリーンフィールゴルフ倶楽部	高知県
7	18	月	第6回四国小学生ゴルフ大会	新居浜カントリー倶楽部	愛媛県
	21～22	木～金	第31回四国ジュニアゴルフ選手権競技	北条カントリー倶楽部	愛媛県
8	4	木	第31回四国クラブ対抗決勝競技	Kochi黒潮カントリークラブ	高知県
9	14～15	水～木	第18回四国ミッドシニアゴルフ選手権競技	高松カントリー倶楽部	香川県
	14～15	水～木	第18回四国グランドシニアゴルフ選手権競技	高松カントリー倶楽部	香川県
	27～28	火～水	第31回四国シニアゴルフ選手権競技	新居浜カントリー倶楽部	愛媛県
10	12	水	第2回四国アンダーハンディキャップゴルフ競技	鮎滝カントリークラブ	香川県
	21～22	金～土	第1回四国ミッドアマチュアゴルフ選手権競技	今治カントリー倶楽部	愛媛県
11	1	火	第1回四国女子インタークラブ親善競技	坂出カントリークラブ	香川県

(共催等)

(事情により変更されることあり)

開催日			競技の名称	開催場所	
月	日	曜			
7	25～26	月～火	国民体育大会ゴルフ競技少年男子四国ブロック大会	松山国際ゴルフ倶楽部	愛媛県
9	2～3	金～土	第41回中四国オープンゴルフ選手権競技	賀茂カントリークラブ	広島県

シード選手一覧 =2011(平成23)年度四国ゴルフ連盟主催競技=

四国女子アマチュアゴルフ選手権競技(5月18～19日)

〈前年度四国女子アマ〉堀 奈津佳、高橋紀乃 〈前年度四国ジュニア〉高橋紀乃、堀 奈津佳、堀 琴音、丹 萌乃

四国アマチュアゴルフ選手権競技(6月1～4日)

〈徳島県〉山岡成稔、亀代順哉、前田和宏(以上徳島C)、吉成弘和、谷口國博(以上鳴門C)、田岡誠二(レオマ高原G)

赤木和彦(東徳島G)、尾崎竜二(阿南C)、橋本和樹(御所C)

〈高知県〉傍士 基、井上貴弘、長沢佑太、中川桂輔、奥村拓海、杉山知晴(以上スカイベイG)、佐竹将吾(高南G)

生田伸光(土佐ユートピアC)、仁木海渡(土佐山田G)

〈香川県〉池上憲士朗、弓削淳詩(以上詫間C)、多田知広(アルファ津田C)、原 敏之、橋本龍位(以上新琴南G)

谷本伊知郎(屋島C)、三木一外(こんぴらLG)

〈愛媛県〉二宮慎堂、崎山俊紀(以上今治C)、村上 敦、小川貴大(以上サンセットヒルズC)、濱邊 玲(松山国際G)

峯森完太、続木 仁(以上新居浜C)、吉田 心(新伊予G)、森内信隆(松山シーサイドC)、宮内信太郎(道後G)

〈優勝者3年間シード〉池上憲士朗(2010優勝)、原 敏之(2009優勝)、松山英樹(2008優勝)

〈前年度四国ジュニア〉杉山知晴、手束将之、香川奈鷹 〈西日本パブリックアマ四国地区決勝大会より〉山岡成稔

四国アマチュアゴルフ選手権競技二次予選(県アマ決勝)

〈西日本パブリックアマ四国地区決勝大会より〉早藤将太(高知県アマ決勝へ)、吉成弘和(徳島県アマ決勝へ)

四国ミッドシニアゴルフ選手権競技(9月14～15日)

真井純一(御所C)、水田芳明(スカイベイG)、四宮陽一(高松グランドC)、岡本忠応(鳴門C)、岩崎一雄(高松ゴールドC)

四国グランドシニアゴルフ選手権競技(9月14～15日)

青野 章(滝の宮C)、伊東隆弘(新居浜C)、太田 勇(新伊予G)、岡林大一郎(錦山C)、白鳥英二(JクラシックG)

四国シニアゴルフ選手権競技(9月27～28日)

〈徳島県〉中西秀樹(阿南C)、岡 繁幸(徳島C)、近藤克久(レオマ高原G)、高橋 剣(四国C)、坂田幹夫(眉山C)、千原喜清(鳴門C)

〈高知県〉上田 弘(グリーンフィールG)、井上幸伸、坂井淳一(以上土佐ユートピアC)、山中陽生、飯田昭夫(以上土佐C)、松山慶三(高知G)

〈香川県〉青木邦夫、後藤高成、筒井清道(以上屋島C)、唐津正二、木村清吉(以上高松C)、稲毛邦浩(高松グランドC)

森本 浩(こんぴらLG)、久保田剛司(坂出C)、坂部彰一、安田 強(以上エリエールG)、谷口幸司(琴平C)

〈愛媛県〉羽藤悟志(新伊予G)、崎山俊紀、御手洗成人(以上今治C)、戎 賢也(サンセットヒルズC)、井上健太郎(道後G)

矢野俊幸(新居浜C)、徳田登子夫、梅林伸一(以上愛媛G)、竹田秀策、山下一實(以上西条G)、中尾幸男(宇和島C)、石原真人(高原G)

第58回四国グランドシニア会秋季競技 =四国カントリークラブで開催(10/27)= 竹田さん(土佐C)、選手権の部は青野さん(滝の宮C)がともに初優勝

四国ゴルフ連盟の加盟倶楽部会員(男70・女60歳以上、会員数180人)で組織する“四国グランドシニア会”の第58回秋季ゴルフ競技会が平成22年10月27日、四国カントリークラブ(徳島県)で57名参加のもと開催され、竹田 功さん(土佐C=写真右)がネット65(グロス84)で、一方、グロスを競う選手権の部(秋季のみ開催)で青野 章さん(新居浜C=写真左)が76で、ともに初優勝を飾った。上位成績は次のとおり。

第58回四国グランドシニア会秋季競技
(Par72 男子:5,558yd 女子:5,339yd)

順位	氏名	所属	NET	GRSS
優勝	竹田 功	土佐C	65	84
2	富田幸四郎	土佐C	67	79
3	小笠原重治	パシフィックG	68	81
4	篠原 實	こんぴらLG	68	80
5	濱 博	志度C	68	86
6	峯崎 正文	滝の宮C	68	80
7	氏家 徹	こんぴらLG	70	95
8	内田 勝久	ロイヤル高松C	70	76
9	石川 敬	滝の宮C	71	80
10	長岡 耕作	こんぴらLG	71	82



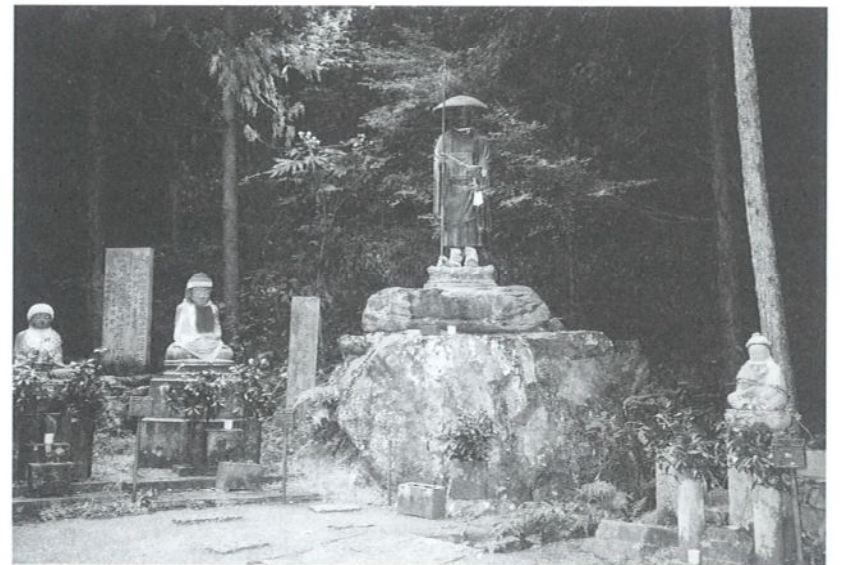
順位	氏名	所属	NET	GRSS
11	朝野 敬治	高知G	71	81
12	藤岡 一助	黒潮C	71	77
13	青野 章	滝の宮C	71	76
14	桑野 一	JクラシックG	72	84
15	永野 岩雄	錦山C	72	85

【選手権の部】

順位	氏名	所属	NET	GRSS
優勝	青野 章	滝の宮C	76	(39 37)
②	内田 勝久	ロイヤル高松C	76	(36 40)
③	藤岡 一助	黒潮C	77	(38 39)

シリーズ お四国随想 No.38 =番外と奥の院=

札所の中で番外と奥の院というものがある。徳島県では、一番札所に向かって撫養街道(県道12号線)を西に進み、鳴門市大麻町大谷の土御門上皇の火葬所手前の八幡神社の馬場を少し登ると、山裾に一番奥の院「東林寺」がある。方丈の横の石段を上がると種蒔き大師堂があり、その少し奥に古墳の洞窟がある。近くにある「大麻彦神社」が一番札所の奥の院だったが、明治になってから廃止されたという。次に、神山町を鮎喰川に沿って上り、寄井から十二番「焼山寺」に登る途中の右側に、「杖杉庵」という小さな御堂がある。ここが衛門三郎が弘法大師に会えた所であり、また、衛門三郎の臨終の地でもある。彼の杖を地中に挿したのが、後に杉の大木となり、現在のものは、二代目とされる。次に、二十三番「薬王寺」を過ぎて進むと、右手に「鯖大師」という番外札所がある。このあたりを八浜八坂と称し、美しい浜が並んでいる。その半分の四



浜四坂を越したあたりに、その立派な御堂(昭和61年建立)があり、大師伝説として残っている。ところで、高知には番外は見当たらないが、一方、愛媛には、四十三番「明石寺」から遠く大洲まで行くと、番外十夜が橋「永徳寺」がある。大洲市徳の森の十夜川に架けられた「十夜が橋」で、今は、立派なコンクリートの橋となっているが、この橋の下にある小さな御堂が番外の札所である。この橋を渡る時には、杖の音をたてないよとの言い伝えがある。大師がこの橋の下で仮眠された頃は、一夜が十夜にも感じたほどの寂しいところであったが、今では、車の騒音で仮眠どころではない。内子へは、ここから向かうこととなる。さて、次に四国中央市に向かうと、川之江に「椿堂」という御堂がある。ここは、六十五番「三角寺」の奥の院で、六十六番「雲辺寺」に行く途中にあり、距離は近い。また、ここは遍路さんのほか文人墨客もよく参拝し、正岡子規の句碑も立っている。正式名称は、「邦治山不動院常福寺椿堂」といい、大師の帰国の翌年(大同2年)に、邦治居士という人が地蔵さんを立てたのが始まりであるとのこと。また、香川には、多度津の海岸に屏風ヶ浦海岸寺がある。ここで逸話がある。「海岸寺」側では、文化8年に“この地こそ大師の誕生の地である”と主張し、朝廷に訴えている。一方、「善通寺」側は、あくまで「善通寺」が大師の誕生の地だと主張し、文化13年京都嵯峨御所から“善通寺は大師の父田公の邸宅で、本居なるをもって降誕の地に相違なく、「海岸寺」は母玉依の別荘で、産屋のところ相違なし”ということで決着している。海に面した実に立派なお寺である。最後に、忘れてならないのは七十三番「出釈迦寺」の奥の院として、寺から1.8kmほど登ると我拝師山の途中にある御堂と「捨身が嶽」のこともあるが、これは、またの機会に記すこととする。(手島 皓一)

シリーズ 倶楽部コースのご紹介

その43

当グランディ鳴門ゴルフクラブ36は、会員制ホテルNo.1の実績を誇る「リゾートトラスト(株)」が2001年3月に開業した「グランドエクシブゴルフ&スパリゾートエクシブ鳴門」の中核を担っている。明るく開放的で優雅な地中海の休日を感じる分満喫していただけるハード・ソフト両面のサービスを備え、美しい瀬戸内海との一体感がある。コース面積は120万㎡で四国最大のウエストコース(18H)&イーストコース(18H)のフラットで雄大な36ホールのリゾートコースをお楽しみいただけます。

ご到着されますと玄関にバッグを降ろし、瀬戸内海が一望できる広々とした2階建て駐車場に停める。玄関の大きな扉を開けて進んで行く、そこには空まで見える吹き抜けの開放感あふれるエントランスロビーがあり、混雑することもなく身支度を整え、ラウンジでゆったりとエスプレッソコーヒーを飲む。ラウンジのガラス越しにはEAST-INコースのスタートホールが見え、朝の歓声が聞こえてきそうな雰囲気。クラブハウス南側には、パッティング練習用のグリーン2面とアプローチ練習場、スタート前の調整に余念のない練習。予定のスタート時間が迫る、エコロジーに配慮された電磁式カートに乗り込み、いよいよスタートホールへ。EAST-OUTのエクシブ鳴門を左に見ながらの2番ホールのティーショットは、プレッシャーのかかるミドル、グリーン上からは、多島美の瀬戸内海を眺望でき、天気の良い日には小豆島が見え、180度一大パノラマ、まさに驚きの絶景。EAST-IN 16番ホールは右側に大きな池とビーチバンカーが待ち受ける600ヤードの最長ロングホール。距離のある正確なショットが要求されます。WEST-OUT 6番ホールは池の中にグリーンがあるのかと思わせる造形の名物ミドルホールで、1打目の落としどころがスコアを左右します、またセカンドショットの距離感も大切です。9番ホールも名物ホールの一つ、ティーランドからの絶景は、まるで地中海さながら、特に瀬戸内海に聳え立つリゾートホテルは美しい絵のようだ。さらにハート型の2段グリーンはカップの位置にドラマ・距離あるミドル。WEST-IN 12番のミドルホールでは、ティーランド右に樹齢300年の「県木やまもも」の古木が、ゴルファーを優しく見守る。また、コース中央に巨木があり、ティーショットの狙い目はフェアウェイ右サイド、ただしくロスバンカーに要注意…このように各プレーヤーに挑戦意欲をそそり、さまざまなゴルフシーンがストーリーとなって、きっとあなたの思い出となる感動のページに加わることでしょう。

最後になりますが、一日では全コースを回りきれないためゆっくり宿泊を兼ねた2プレーが人気です。ご宿泊は、47室を備えた「ザ・ロッジ」をご利用いただき、別棟の大浴場「天然ミネラルバス」で疲れを癒してください。当コースは、女子プロツアー「リゾートトラスト・レディース」を過去2度(2001年の第9回、2002年の第10回大会)の開催実績もあります。皆様の当クラブへのご来場をスタッフ一同心よりお待ちしております。

支配人 増田 敦男

グランディ鳴門ゴルフクラブ36



〒771-0376 徳島県鳴門市北灘町折野字大川筋182
TEL 088-682-0246 FAX 088-682-0948

その44

当タカガワ新伊予ゴルフ倶楽部は、愛媛県の東端部に位置する四国中央市にあります。当市はその名のとおり四国の中央にあり、四国で唯一4県に接し、東西に約25kmの美しい海岸線、南に広大な農地が広がっています。また、高速道路網の整備により四国の「エクスハイウェイ」の中心地となり、各県都からはいずれも約1時間で結ばれています。当倶楽部までは、高速道路・松山自動車道の「土居IC」、「新居浜IC」から所用時間20分と便利です。

お客様が異口同音にされるのは、自然美の中のロケーションの素晴らしさ。コースからの眺めは、東西海岸線に沿って、全国屈指の製紙工業地帯である三島・川之江、東は香川の観音寺・仁尾方面を見渡せ、瀬戸内海がまるで大きな湖であるかと錯覚するような穏やかで優雅な遊園地が広がっています。さらに、南は、石鎚山系につながる法皇山脈の山々がそびえ、荘厳・雄大な景観が素晴らしく、3月下旬から6月頃には赤や淡いピンクの山つつじ、秋には一帯真っ赤に燃え盛るハゼの木と眩しいまでの黄色いクヌギの葉の見事なコントラスト、冬には頂きに真っ白な雪をたたえ、奥深い山里を訪れたような気持ちにさせてくれ、四季折々変化に富み、飽きることなく自然美も楽しめます。

コースは、ほとんどのティー台からグリーンが見渡せ、比較的やさしいレイアウトですが、フェアウェイとグリーンとの微妙なアンジュレーションが曲者で、状況に応じたクレバーなショットとコース戦略が要求されます。女性・年配の方は、前方ティーでやさしく、一般の方には、挑戦意欲を掻き立てられるコース構成で、何度プレーしても面白味の尽きないコースだと好評をいただいています。

レストランは、自社営業で和・洋・中を揃え、中でも特に中華料理が味・ボリュームともに好評で、ほとんどの方がサービスメニューも残さず召し上がるなど、昼食を楽しまれるお客様も多いようです。

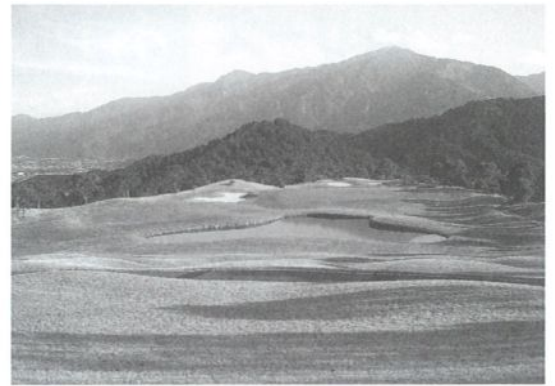
平成3年オープン当倶楽部も、平成15年にタカガワグループに入り、現在全国8コースを運営しています。当グループの特徴は、会員様には全国すべての当グループのゴルフ場で、土・日・祝日を含め、全て会員料金でプレーができる特典がありますことから、香川・徳島はもとよりホテルと隣接する岡山の湯原をはじめ、兵庫・山口・札幌まで広くご利用されるなど、年間約13,000人の方に相互利用により喜んで頂いています。特に、四国内4コースは定期的に倶楽部対抗戦を行い、切磋琢磨し合いながら交流・親睦を深めています。

今年は、オープン20年の節目の年です。今後とも、コース整備に万全を期すとともに、スタッフ一同、常に温かいおもてなしの心をもってお客様をお迎えできますよう、日々心がけて参ります。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

支配人 山中 善博

タカガワ新伊予ゴルフ倶楽部



〒799-0723 愛媛県四国中央市土居町大字天満66番地
TEL 0896-74-6151 FAX 0896-74-6156

〈事務局からのお知らせ〉

◇加盟倶楽部の入場者数(平成22年度)、前年度を2.4パーセント下回る。

四国ゴルフ連盟加盟60倶楽部の平成22年度年間入場者総数は、2,319,671人で前年度(2,377,082人)に比べ57,411人減少(△2.4%)しました。4県の内訳は、徳島△20,136人(△4.0%)、愛媛△25,203人(△3.7%)、香川△7,415人(△1.1%)、高知△4,657人(△1.0%)で、いずれも減少。ここ5年間の入場者総数(千人未満四捨五入)は、平成18年(2,303千人)、19年(2,398千人)、20年(2,366千人)、21年(2,377千人)、22年(2,320千人)で平均2,353千人。

◇役員名「理事長」を「会長」に改称

本会報一面の【総会の概要】に記載のとおり四国ゴルフ連盟の規約の一部が変更され、「理事長」の役員名が平成23年2月18日から「会長」に改められた。

◇事務局職員の人事異動(平成23年4月1日付け)

(職名) 事務局長 (氏名) (新任) 桧垣 史 (退任) 秋川 秀美